



生活スタイルと社会意識に関するアンケート

モニターの皆様へのお願い

本アンケートには、一般に公開していない情報が含まれる場合があります。

アンケート内で知り得た情報について、決して第三者に口外しないよう、お願いします。

「第三者への口外」に含まれる例

- 口頭、電話、メール等で友人・知人に話す
- SNSやブログ、掲示板等へ書き込む
- その他、手段を問わず、情報を第三者に伝達する行為

注意事項

- 複数のアンケート画面を同時に開くと、正常に回答できません。
アンケートはひとつずつ、回答ください。
- アンケートへの回答は、「動作環境」に記載の環境からお願いします。
- 本アンケートは、回答を中断してから1時間以内は中断した質問から再開可能です。
(システム緊急対応等により再開できない場合もありますので、予めご了承ください。)
- 回答結果は、当社の「個人情報保護方針」に基づいて取り扱います。

上記の内容をご確認いただき、同意してご協力いただける場合のみ、「同意し、アンケート開始」を押してアンケートを開始してください。

同意し、アンケート開始

SC1 あなたは、すでに学校を卒業しましたか。
必須 それとも、現在学校に通っていますか。

- 1.すでに学校を卒業した
- 2.現在、学校に通っている

次へ

SC2
必須

あなたが最後に卒業した学校は次のうちどれでしょうか。

- 1. 中学
- 2. 高校
- 3. 専修学校、専門学校
- 4. 短期大学、高専（5年制の高等専門学校）
- 5. 大学
- 6. 大学院

次へ

SC3
必須

あなたは現在、収入を伴う仕事に就いていますか。

- 1. 就いている（有職）
- 2. 就いていない（無職、家事に専念など）

次へ

SC4
必須

あなたは現在、どのような形で働いていますか。
お仕事を2つ以上お持ちの場合は、主な仕事を1つだけ思い浮かべてください。

- 1. 自営業主
- 2. 家族従業員（家業としての自営業を手伝っている家族）
- 3. 会社・法人などの経営者・役員
- 4. 常時雇用の従業者（正社員・正職員）
- 5. パートタイム・アルバイト・臨時雇用・契約社員の従業者
- 6. 派遣社員
- 7. その他：

次へ

「生活スタイルと社会意識に関する調査」ご協力のお願い

奈良女子大学人文科学系 教授 林拓也

本調査は、20歳から59歳の方々を対象として実施しております。

みなさまがふだん、どのような生活を送っているか、またどのようなお考えをもっているかについてお尋ねするものです。

この調査を行うにあたっては、日本学術振興会の科学研究補助金（基盤研究(C) 研究課題番号16K04032）の助成を受けています。


ご回答の内容は、数値化された統計データとして集計・分析を行いますので、個人が特定される情報が公表されることはございません。また、回答データは、学術研究を目的とした分析でのみ利用しますので、それ以外の目的で利用することはございません。

ご回答は任意ですが、調査の趣旨をご理解いただいた上で、ぜひともご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

次へ

Q1 必須 あなたがふだんの買い物で気をつけていることとして、以下のそれぞれの事柄はどのくらいあてはまりますか。

※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

		1. あてはまる	2. ややあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
					
1.	従業員が劣悪な仕事環境や労働条件で働いている企業の商品であることがわかれば、その商品は買わない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2.	販売・製造している企業が社会的責任（利益を追求するだけではなく、様々なかたちで社会に貢献すること）を果たしていないことがわかれば、その商品は買わない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3.	地震などの被災地への支援を目的とした商品であれば、他の商品より値段が高くても買う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.	発展途上国の貧困労働者の支援を目的とした商品（フェアトレード商品など）であれば、他の商品より値段が高くても買う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5.	できるだけ再利用可能・リサイクル可能な容器に入った商品を買う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6.	できるだけ地元でつくられた商品や生産者の顔の見える商品を買う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7.	ふだん使っている商品が環境に悪影響を与えることがわかれば、その商品は買わない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8.	買って使わなかったり、余らせてしまいそうな商品は買わない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

Q2 必須 あなたは最近5年くらいの間に、環境保護や企業倫理の観点から、次にあげるようなことをしたことがありますか。

※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

		1. ある	2. ない
1. 特定の企業の商品を買うのをやめる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 特定の企業の商品を積極的に買う	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

Q3 必須 あなたは、最近5年くらいの間に、次にあげるような活動をしたことがありますか。

※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

		1. ある	2. ない
1. クラシック音楽のコンサートへ行く	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 美術館や博物館に行く	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. カラオケに行く	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. パチンコ・競馬・競輪・競艇・マージャンをする	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 社会的活動に参加する (ボランティア活動、募金活動、署名運動など)	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. スポーツ新聞や女性週刊誌を読む	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 海外旅行に行く	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 小説・エッセー・歴史書・教養書を読む	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

Q4
必須

人々は、ある集団のことを、自分の属している集団とは異なる「遠い世界」のこととして感じたり、逆に、自分の集団と「近い」集団と感じたりします。

以下では、左と右に分かれた職業ペア（AとB）がいくつか提示されています。

(1) から (10) に示すそれぞれのペアについて、A・Bどちらの職業に対してあなたはより「近い」と感じますか。

(それぞれひとつだけ)

A	1. Aの方が近い	2. どちらかといえばAの方が近い	3. どちらともいえない	4. どちらかといえばBの方が近い	5. Bの方が近い	B
A-1. 警察官	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-1. 小学校教員
A-2. 会社経営者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-2. 駐車場管理人
A-3. 習いごと教室の先生	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-3. 課長クラスの管理職
A-4. 小学校教員	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-4. 食品工場の作業員
A-5. 美容師	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-5. 外回り営業職
A-6. 受付窓口職員	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-6. 看護師
A-7. 駐車場管理人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-7. ウェイター・ウェイトレス
A-8. 清掃員	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-8. 習いごと教室の先生
A-9. 看護師	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-9. 情報処理技術者
A-10. マンションの管理人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-10. 高校教員

次へ

Q5 必須 あなたのまわりに、以下のような職業の方はいらっしゃいますか。
 家族、親せき、親しい友人、近隣に住む人、仕事上のつきあい（職場の同僚、取引先の相手など）
 それぞれについて、あてはまるものすべてをお答えください。

※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

	1. いない	2. 家族の中にいる	3. 親せきの中にいる	4. 親しい友人の中にいる	5. 近所の人の中にいる	6. 仕事上のつきあいの中にいる
1. 医師や弁護士など専門的な知識をもった職業に従事する人 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 民間企業あるいは役所で管理職についている人 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 工場や建設・工事の現場で肉体労働をしている人 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 商店や飲食店など、自営業を営んでいる人 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. パート・アルバイト・派遣社員など正規雇用以外の働き方をしている人 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 現在失業していて職を探している人 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

次へ

Q6 必須 あなたのまわりに、以下のような方はいますか。
 それぞれについて、あてはまるものすべてをお答えください。
 （いくつでも）

- 1. 議員や行政（自治体）に対するつてがある人
- 2. クラシックのファンでコンサートによく行っている人
- 3. 絵画鑑賞が好きで美術館の展覧会などによく行っている人
- 4. 環境に配慮した製品や社会に配慮した製品（例、フェアトレード商品）の購入に積極的な人
- 5. あてはまるものはない

次へ

Q7 仕事に関する以下の事柄について、あなたはどのように考えますか。

必須

※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

		1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない
					
1. 高い地位を得ることは重要だ	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 仕事内容や進め方を自分で決められることは重要だ	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 仕事のなかで、知識や能力を生かせることは重要だ	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 仕事をする上で、他の人々と必要以上に仲良くしなくても良い	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 仕事のためならば、家庭が多少犠牲になっても仕方がない	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

Q8 結婚した女性が職業をもち続けることについて、どうお考えでしょうか。

必須

次の意見のうち、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

- 1. 結婚したら、家庭を守ることに専念したほうがよい
- 2. 結婚しても子どもができるまでは、職業をもっていたほうがよい
- 3. 結婚して子どもが生まれても、できるだけ職業をもち続けたほうがよい

次へ

Q9 必須 これからの日本の社会にとって、以下のA（左側）とB（右側）の意見があるとして、それぞれ、どちらが望ましいと思いますか。（それぞれひとつだけ）

A	1. Aが望ましい	2. どちらかといえばAが望ましい	3. どちらかといえばBが望ましい	4. Bが望ましい	B
A-1. これまでの伝統や慣習を尊重していくこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-1. これまでの伝統や慣習とは違う、新しいやり方を試していくこと
A-2. 指導者や専門家の知識・意見を基準とすること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-2. 指導者や専門家に頼らずに、多くの人々の知識・意見を基準とすること
A-3. 違った考えかたをもつ人がたくさんいて、いろいろな意見を出し合うこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-3. 同じ考えかたをもつ人がたくさんいて、意見の対立がないこと

次へ

Q10 必須 国民と政治とのかかわりについて、次のような意見があります。それぞれについて、あなたはどのように思いますか。

※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	4. どちらかといえばそう思わない	5. そう思わない
1. 自分のようなふつうの市民には、政府のすることに対して、それを左右する力はない →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 政治や政府が何をやっているのか、自分にはよく理解できない →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 選挙では、自分一人くらい投票しなくてもかまわない →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 国会議員は、当選したらすぐ国民のことを考えなくなる →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

Q11 仮に現在の日本社会全体を、以下のように「上の上」から「下の下」まで6つの層に分けるとすれば、あなた自身はこのどれに入るとお考えですか。

- 1.上の上
- 2.上の下
- 3.中の上
- 4.中の下
- 5.下の上
- 6.下の下

次へ

Q12 あなたは過去に仕事に就いていましたか。就いていた場合、それは何歳のときまででしたか

- 1.仕事に就いていた： 歳まで
- 2.いままでも収入を伴う仕事に就いたことがない

次へ

Q13 ■ここから先は、あなたが最後に就いていたお仕事についてお伺いします■
必須

そのとき、あなたはどのような形で働いていましたか。

- 1.自営業主
- 2.家族従業員（家業としての自営業を手伝っている家族）
- 3.会社・法人などの経営者・役員
- 4.常時雇用の従業者（正社員・正職員）
- 5.パートタイム・アルバイト・臨時雇用・契約社員の従業者
- 6.派遣社員
- 7.その他 具体的に：

次へ

Q14-1 ■ここから先はあなたのお勤め先についてお伺いします■
必須

あなたのお勤め先は、次のうちどれにあたりますか。

Q14-2
必須

あなたのお勤め先は、次のうちどれにあたりますか。

- 1.官公庁、役所
- 2.公立の組織（国立・県立・市立の学校や病院など）
- 3.民間の企業

次へ

Q15-1
必須

あなたのお勤め先には、従業員は何人くらいいますか。

※従業員には、常時雇用（正社員・正職員）だけでなく、パートタイム・アルバイト、契約社員なども含みます。
※派遣社員の場合は、登録している派遣会社についてお答えください。

Q15-2
必須

あなたのお勤め先には、従業員は何人くらいいましたか。

※従業員には、常時雇用（正社員・正職員）だけでなく、パートタイム・アルバイト、契約社員なども含みます。
※派遣社員の場合は、登録している派遣会社についてお答えください。

- 1.従業員はいない（自分1人で働いている・働いていた）
- 2.従業員は29人以下
- 3.従業員は30～299人
- 4.従業員は300～999人
- 5.従業員は1,000人以上
- 6.わからない

次へ

Q16-1 必須 あなたのお勤め先では、どのような事業を行っていますか。
 具体的な事業・業種を、以下の入力例を参考にして、その下のボックスに入力してください。

※複数の事業を行っている場合には、主要なものを1種類だけ入力してください。

事業の種類		入力の例（この通りでなくても構いません）
作物や天然資源を採取	→	農業、林業、漁業、鉱業
工事・据え付け	→	建設業、土木工事業、設備工事業
物品を製造・修理	→	〇〇の製造業（自動車製造、食品製造など）、印刷業、金属加工業、石油精製業、〇〇の整備・修理業（自動車整備など）
電気・ガス・水道などを供給	→	電気業、ガス業、水道業、熱供給業
人や荷物を輸送	→	鉄道、航空、宅配、倉庫、旅行、郵便業
商品を販売	→	〇〇の卸売業、〇〇の小売業
情報や通信に関わるサービス	→	電話・電気通信、放送、出版、新聞、インターネット・サービス業、ソフトウェア、情報処理
飲食・宿泊に関わるサービス	→	飲食店、ホテル、旅館、下宿
金融に関わるサービス	→	銀行、保険、不動産
専門的なサービス	→	設計事務所、法律事務所、会計・税理事務所、デザイン業、コンサルタント業、広告業、学校、学習塾、保育所、病院、介護事業
生活関連のサービス	→	クリーニング、理容・美容室、家事サービス、物品リース・レンタル、結婚式場、霊園、スポーツ施設、遊園地、趣味の遊技場、廃棄物処理
公的なサービス（官公庁）	→	省庁、県庁、市役所

Q16-2 あなたの勤め先では、どのような事業を行っていましたか。
必須 具体的な事業・業種を、以下の入力例を参考にして、その下のボックスに入力してください。

※複数の事業を行っている場合には、主要なものを1種類だけ入力してください。

事業の種類		入力の例（この通りでなくても構いません）
作物や天然資源を採取	→	農業、林業、漁業、鉱業
工事・据え付け	→	建設業、土木工事業、設備工事業
物品を製造・修理	→	〇〇の製造業（自動車製造、食品製造など）、印刷業、金属加工業、石油精製業、〇〇の整備・修理業（自動車整備など）
電気・ガス・水道などを供給	→	電気業、ガス業、水道業、熱供給業
人や荷物を輸送	→	鉄道、航空、宅配、倉庫、旅行、郵便業
商品を販売	→	〇〇の卸売業、〇〇の小売業
情報や通信に関わるサービス	→	電話・電気通信、放送、出版、新聞、インターネット・サービス業、ソフトウェア、情報処理
飲食・宿泊に関わるサービス	→	飲食店、ホテル、旅館、下宿
金融に関わるサービス	→	銀行、保険、不動産
専門的なサービス	→	設計事務所、法律事務所、会計・税理事務所、デザイン業、コンサルタント業、広告業、学校、学習塾、保育所、病院、介護事業
生活関連のサービス	→	クリーニング、理容・美容室、家事サービス、物品リース・レンタル、結婚式場、霊園、スポーツ施設、遊園地、趣味の遊技場、廃棄物処理
公的なサービス（官公庁）	→	省庁、県庁、市役所

具体的に：

次へ

Q17-1 ■あなた自身のお仕事についてお伺いします■

必須 ふだん働く場所は、次のうちどれにあたりますか。

- 1.主に屋内（事務所・店・工場などの中）で働く
- 2.主に屋外で働く
- 3.屋内・屋外の両方で働く

次へ

Q17-2 ■あなた自身のお仕事についてお伺いします■
必須

あなたのふだん働いていた場所は、次のうちどれにあたりますか。

- 1.主に屋内（事務所・店・工場などの中）で働いていた
- 2.主に屋外で働いていた
- 3.屋内・屋外の両方で働いていた

次へ

Q18-1 あなたが行うお仕事に、以下の性質はそれぞれどの程度あてはまりますか。
必須

※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

Q18-2 あなたが行っていたお仕事に、以下の性質はそれぞれどの程度あてはまりますか。
必須

※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

	1. かなりあてはまる	2. ある程度あてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
1. 人を相手にすることが多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 肉体的な労力を使うことが多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 頭腦的な労力を使うことが多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 自分の仕事の内容やペースを、自分で決めることができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

Q19-1 お仕事を行うにあたって、特定の資格や免許を必要としたり、望まれることはありますか。
必須

- 1.特定の資格や免許が必要とされる
- 2.特定の資格や免許がなくても良いが、持つことが望まれる
- 3.資格や免許はとくに必要とされない

次へ

Q19-2
必須

お仕事をを行うにあたって、特定の資格や免許を必要としたり、望まれたことはありますか。

- 1.特定の資格や免許が必要とされた
- 2.特定の資格や免許がなくても良いが、持つことが望まれた
- 3.資格や免許はとくに必要とされなかった

次へ

Q20
必須

前問で「{Q19-1 回答(文)}{Q19-2 回答(文)}」と回答されましたが、具体的に、どのような資格・免許ですか。

次へ

Q21
必須

あなたのお仕事の内容を、以下の入力例を参考にして、その下のボックスに入力してください。

※複数の仕事を行っている場合には、主要なものを1種類だけ入力してください。
(自由回答)

仕事の種類		入力の例 (この通りでなくても構いません)
農林漁業	→	農業、林業、漁業
建設・土木職	→	大工、とび、左官、道路工事、電気工事、採掘
生産工程	→	〇〇の製造 (自動車組立、食品製造など)、印刷、金属加工、 〇〇の検査・整備・修理 (製品検査、自動車整備など)
輸送・機械運転	→	〇〇の運転 (鉄道、タクシー、トラックなど)、パイロット、 車掌、クレーンの運転・操作、ボイラーの操作、発電装置の操 作
運搬・包装・清掃	→	郵便・宅配配達、倉庫作業、荷造り・包装作業、清掃員
サービス職	→	訪問介護、理容師・美容師、クリーニング職、料理人・コック、 飲食の給仕 (ウェ이터など)、接客員、旅館・ホテル従業員、 アパート・駐車場などの管理人、旅行ガイド
保安職	→	警察官、自衛官、消防員、警備員
販売・営業職	→	販売店員、小売店の店主、〇〇商品の営業、保険の外交員、不 動産仲介
事務職	→	一般事務、人事、総務、経理、受付窓口、パソコン入力
管理職	→	議員、経営者・役員、駅長、支店長
資格専門職	→	医師、看護師、薬剤師、保育士、ケアマネジャー、弁護士、公 認会計士、幼稚園・〇〇学校の教員 (小学校~大学)、図書館 司書、カウンセラー
技術的専門職	→	研究者、技術者 (エンジニア)、通信士
文化的専門職	→	作家、記者・編集者、芸術家、デザイナー、宗教家 (僧侶・牧 師など)、プロスポーツ選手

具体的に:

次へ

Q22-1
必須

あなたのお仕事は、男性・女性のどちらに向いていると思いますか。

Q22-2
必須

あなたのお仕事は、男性・女性のどちらに向いていたと思いますか。

- 1.男性に向けた仕事である
- 2.どちらかといえば男性に向けた仕事である
- 3.どちらかといえば女性に向けた仕事である
- 4.女性に向けた仕事である
- 5.どちらか一方の性別に向いているとは思わない

次へ

Q23-1
必須

なぜ男性に向いている、あるいは女性に向いているとお考えでしょうか。
その理由について、以下の空欄に簡単にお答えください。
(最大3つまで)

Q23-2
必須

なぜ男性に向いていた、あるいは女性に向いていたとお考えでしょうか。
その理由について、以下の空欄に簡単にお答えください。
(最大3つまで)

次へ

Q24-1
必須

あなたは、何かの役職に就いていますか。

- 1. 役職には就いていない
- 2. 監督、職長、班長クラスの役職
- 3. 係長、主任クラスの役職
- 4. 課長クラスの役職
- 5. 部長クラスの役職
- 6. その他の役職 具体的に：

次へ

Q24-2
必須

あなたは、何かの役職に就いていましたか。

- 1. 役職には就いていなかった
- 2. 監督、職長、班長クラスの役職
- 3. 係長、主任クラスの役職
- 4. 課長クラスの役職
- 5. 部長クラスの役職
- 6. その他の役職 具体的に：

次へ

Q25
必須

あなたは現在の仕事にどの程度満足していますか。

- 1. 非常に満足
- 2. 満足
- 3. どちらとも言えない
- 4. 不満
- 5. 非常に不満

次へ

Q26 あなたは今まで失業した経験がありますか。
必須 ここでの「失業」とは、働きたいけど仕事が見つからない状態を指します。

- 1.ある（現在失業中の場合も含みます）
- 2.ない

次へ

Q27 失業していた期間は、最長でどのくらいの期間ですか。
必須

- 最長で3ヶ月未満
- 3ヶ月から6ヶ月未満
- 6ヶ月以上

次へ

Q28 昨年1年間のあなた個人の収入はどのくらいですか。
必須 税金を差し引く前の収入でお答えください。

※株式配当・不動産収入、臨時収入・副収入などもすべて含めてください。

- 150万円未満
- 150～300万円未満
- 300～450万円未満
- 450～600万円未満
- 600～750万円未満
- 750～900万円未満
- 900～1,200万円未満
- 1,200～1,500万円未満
- 1,500万円以上
- わからない

次へ

Q29 あなたには現在、配偶者（夫または妻）はいらっしゃいますか。
必須 また、いらっしゃる場合、配偶者の方は収入を伴う仕事に就いていますか。

※配偶者には、事実婚や内縁関係の相手も含みます。

- 1.配偶者はいない
- 2.配偶者は仕事に就いている（有職）
- 3.配偶者は仕事に就いていない（無職、家事に専念など）

次へ

Q30 あなたの配偶者は現在、どのような形で働いていますか。
必須 お仕事を2つ以上お持ちの場合は、主な仕事を1つだけ思い浮かべてください。

- 1.自営業主
- 2.家族従業員（家業としての自営業を手伝っている家族）
- 3.会社・法人などの経営者・役員
- 4.常時雇用の従業者（正社員・正職員）
- 5.パートタイム・アルバイト・臨時雇用・契約社員の従業者
- 6.派遣社員
- 7.その他 具体的に：

次へ

Q31 あなたの配偶者のお勤め先は、次のうちどれにあたりますか。
必須

- 1.官公庁、役所
- 2.公立の組織（国立・県立・市立の学校や病院など）
- 3.民間の企業

次へ

Q32 あなたの配偶者のお勤め先には、従業員は何人くらいいますか。

必須

※従業員には、常時雇用（正社員・正職員）だけでなく、パートタイム・アルバイト、契約社員なども含みます。

※派遣社員の場合は、登録している派遣会社についてお答えください。

- 1.従業員はいない（1人で働いている）
- 2.従業員は29人以下
- 3.従業員は30～299人
- 4.従業員は300～999人
- 5.従業員は1000人以上
- 6.わからない

次へ

Q33 あなたの配偶者のお勤め先では、どのような事業を行っていますか。

必須

具体的な事業・業種を、以下の入力例を参考にして、その下のボックスに入力してください。

※複数の事業を行っている場合には、主要なものを1種類だけ入力してください。

事業の種類		入力の例（この通りでなくても構いません）
作物や天然資源を採取	→	農業、林業、漁業、鉱業
工事・据え付け	→	建設業、土木工事業、設備工事業
物品を製造・修理	→	〇〇の製造業（自動車製造、食品製造など）、印刷業、金属加工業、石油精製業、〇〇の整備・修理業（自動車整備など）
電気・ガス・水道などを供給	→	電気業、ガス業、水道業、熱供給業
人や荷物を輸送	→	鉄道、航空、宅配、倉庫、旅行、郵便業
商品を販売	→	〇〇の卸売業、〇〇の小売業
情報や通信に関わるサービス	→	電話・電気通信、放送、出版、新聞、インターネット・サービス業、ソフトウェア、情報処理
飲食・宿泊に関わるサービス	→	飲食店、ホテル、旅館、下宿
金融に関わるサービス	→	銀行、保険、不動産
専門的なサービス	→	設計事務所、法律事務所、会計・税理事務所、デザイン業、コンサルタント業、広告業、学校、学習塾、保育所、病院、介護事業
生活関連のサービス	→	クリーニング、理容・美容室、家事サービス、物品リース・レンタル、結婚式場、霊園、スポーツ施設、遊園地、趣味の遊技場、廃棄物処理
公的なサービス（官公庁）	→	省庁、県庁、市役所

具体的に：

次へ

Q34 あなたの配偶者の**お仕事の内容**を、以下の入力例を参考にして、その下のボックスに入力してください。
必須

※複数の仕事を行っている場合には、主要なものを1種類だけ入力してください。

仕事の種類		入力の例（この通りでなくても構いません）
農林漁業	→	農業、林業、漁業
建設・土木職	→	大工、とび、左官、道路工事、電気工事、採掘
生産工程	→	〇〇の製造（自動車組立、食品製造など）、印刷、金属加工、 〇〇の検査・整備・修理（製品検査、自動車整備など）
輸送・機械運転	→	〇〇の運転（鉄道、タクシー、トラックなど）、パイロット、 車掌、クレーンの運転・操作、ボイラーの操作、発電装置の操作
運搬・包装・清掃	→	郵便・宅配配達、倉庫作業、荷造り・包装作業、清掃員
サービス職	→	訪問介護、理容師・美容師、クリーニング職、料理人・コック、 飲食の給仕（ウェイターなど）、接客員、旅館・ホテル従業員、 アパート・駐車場などの管理人、旅行ガイド
保安職	→	警察官、自衛官、消防員、警備員
販売・営業職	→	販売店員、小売店の店主、〇〇商品の営業、保険の外交員、 不動産仲介
事務職	→	一般事務、人事、総務、経理、受付窓口、パソコン入力
管理職	→	議員、経営者・役員、駅長、支店長
資格専門職	→	医師、看護師、薬剤師、保育士、ケアマネジャー、弁護士、 公認会計士、幼稚園・〇〇学校の教員（小学校～大学）、図書館 司書、カウンセラー
技術的専門職	→	研究者、技術者（エンジニア）、通信士
文化的専門職	→	作家、記者・編集者、芸術家、デザイナー、宗教家（僧侶・牧 師など）、プロスポーツ選手

具体的に：

次へ

Q35 あなたの配偶者は、何かの役職に就いていますか。
必須

- 1.役職には就いていない
- 2.監督、職長、班長クラスの役職
- 3.係長、主任クラスの役職
- 4.課長クラスの役職
- 5.部長クラスの役職
- 6.その他の役職 具体的に：

次へ

Q36 必須 昨年1年間のあなたのお宅（生計を共にしている家族）の収入は、あなたの収入を含めてどのくらいですか。
税金を差し引く前の収入でお答えください。

※株式配当・不動産収入、臨時収入・副収入などもすべて含めてください。
※以下に示す選択肢は、先にお答えいただいたQ28（あなた個人の収入）と同じ額あるいはそれ以上のものだけを表示しています。

- 150万円未満
- 150～300万円未満
- 300～450万円未満
- 450～600万円未満
- 600～750万円未満
- 750～900万円未満
- 900～1200万円未満
- 1200～1500万円未満
- 1500万円以上
- わからない

次へ

Q37 必須 あなたが現在お住いの市区町村は、次のどれにあたりますか。

- 1.大都市圏の中心都市（東京23区、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、名古屋市、大阪市、京都市、神戸市）
- 2.1以外の政令指定都市（札幌市、仙台市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、堺市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市）
- 3.上記1・2以外の県庁所在地
- 4.上記1～3以外の市部
- 5.郡部（町・村）
- 6.どれにあたるかわからない 市町村名：

次へ

Q38 あなたの世帯には、何人の方がいらっしゃいますか。
必須 生計をともにしている人数をお答えください。

※単身赴任や下宿などにより、一時的に離れて暮らしている場合でも、生計をともにしていれば、その方も含めてください。

- 1.自分ひとりのみ
- 2. (自分を含めて) 人

次へ

Q39 あなたの世帯に含まれる方は、次のうちどなたでしょうか。
必須 あてはまる方すべてをお答えください。
(いくつでも)

- 1.配偶者（夫または妻）※事実婚や内縁関係も含む
- 2.自分の親
- 3.配偶者の親
- 4.祖父母
- 5.兄弟姉妹
- 6.子ども
- 7.孫
- 8.その他の親族
- 9.親族以外の人

次へ

Q40 あなたの自宅では、次にあげるものうちどれをお持ちですか。
必須 あてはまるものすべてをお答えください。
(いくつでも)

- 1.持ち家
- 2.土地
- 3.ピアノ
- 4.文学全集・図鑑
- 5.美術品・骨董品
- 6.株券・債権
- 7.乗用車
- 8.どれも持っていない

次へ

必須 アンケートは以上となります。
ご希望の方には、後日、ご回答いただいたアンケートの結果をまとめた調査レポートを配信する予定です。

こちらのレポートの配信をご希望される方は「配信を希望する」をお選びください。

- 1.配信を希望する
- 2.配信を希望しない

次へ

アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。

【生活スタイルと社会意識に関するアンケート】の獲得ポイント

〇〇ポイント

閉じる